

苦いけどおいしい 函館ちとせ幼稚園「ひな茶会」



ひな祭りのしつらえの中、お茶を味わう園児たち

季節のしつらえの中で、茶道に触れる「ひな茶会」が4日、函館市松陰町の函館ちとせ幼稚園（浜田薫園長）で開かれ、年長児46人がお茶を楽しんだ。

表千家の内山社中卯の花会（内山宗幸代表）が園児たちに日本の伝統文化に親しんでもらおうと2016年から開催。ひな人形やお

ひなさまが描かれた軸、桃の花と菜の花などで彩った会場で、同会5人が園児たちに作法を伝えた後、お茶を振る舞った。

園児たちは左横の友人に「お先に頂きます」、茶碗を前に「お点前頂戴いたします」とそれぞれあいさつした後、お茶を味わった。一寸法師や桃太郎、花咲か

じいさんなどの昔話が描かれた小ぶりの茶わんに「かわいい」など見える園児もあり、会場全体から伝統文化を楽しんでいた。

初めてお茶を飲んだという林芽衣咲ちゃん（6）は「ちよっとだけ苦かったけど、おいしかったです」と笑顔だった。

（野長瀬郁美）